

「私のお人形さん」

「どなたにいたゞいたの？」

「パパのおみやげ」ゆつくりした調子で答へながら相不變ニコニコしてゐた。

お迎ひがおそくても、心配して泣くような事はなく、麥藁帽子をあみだにかぶつて、人の居ない玄關の段々に一人ポチにて腰をかけて、のんきにいつまでもまつてゐる。

「長崎へ轉任いたしますので」と退園届を母様もつていらした時、羽二重の白い服をきて、相變らず口もとに笑くぼをみせてゐたのんきな千富美さんの様子になほさら先生はつらい思ひをした。

「お姉様に御本の間へ入れておいたゞきなさいね」と庭の萩を一枝、小さい、肥た手にもたせて、可愛い衿首を、あの人形のやうな後姿を、——自分のと思つてゐるものを手からもぎ取られてしまふやうな氣持で——先生は見送てゐた。

幼児感情調査

城東幼稚園調査

左に掲ぐるは大正三年より同五年に至る三年間東京市日本橋區城東幼稚園に於て擔任保母をして毎年四月入園の幼児に就き入園當時一ヶ月以内に於て調査せしめたる幼児感情調査表なり。因に該調査の對象たりし幼児數は全體に於て百九十三名なりき。

I 崇敬感情

崇敬感情を調査すべく幼児に對して發せる質問語は「一パンエライカタ」と一定せり。

神	天皇陛下	六
神	神武天皇	三名
神	乃木大將	二
大將	大將	五
祖	祖父	四
祖	祖母	五
父	父	三八
母	母	六

人形
不明

二一

乞丐
不明

五九

III 憎悪感情

憎悪感情を調査すべく、幼児に對して發せる質問語は「パンキライナヒト」と一定せり。

恐怖感情を調査すべく幼児に對して發せる質問後は「パンコワイモノ」と一定せり

祖 父 を舉げたるもの

五名

祖 父 を舉げたるもの

四名

祖 母

七

祖 母

五

父

一〇

父

一六

母

一一

母

一〇

伯 父

三

兄

四

兄

五

警 官

三

姉

七

大 將

二

弟

一

友 人

二

妹

二

隣 人

一

赤 坊

二

惡 童

一

友 人

四〇

按 摩 狗

一

雇 人

三八

天 狗

一

他 人

一

鬼

一四

